

まちづくり地区懇談会（中原区）会議録

地区名：中原区

日時：平成28年10月18日（火）19：00～20：30

会場：中原公民館

町参加者：町長・副町長・安積福祉課長・中村課長・市川係長（地域支援スタッフ）
平澤係員・荻原

参加人数：27人（男性22人：女性5人）※町・主催者、報道機関を除く

報道機関：－

主な発言：※要約・箇条書きにて記録

参加者

中原区は他の区と比べて小さい区であるため、区の将来像も含めて派手なことをせず、地道に活動をしていくという中で、NSC（中原セーフコミュニティ推進協議会）も立ち上げ活動を行っている。予算も少ない中で、工夫をして活動を行っている。この中で、小さな区にはプラスで予算を支援していただけないか。

町長

小さい区大きい区それぞれにあった活動をお願いしているところですが、単純に人数での均等割りで行えることと、ベースにそった規模の事業があり、活性化交付金なども単純な均等割りではなく実施をしているところもある。予算の分配など、難しい問題ではあるが考えていかなければならないところにきていると感じている。

外には出していないが、区費等の調査も区長会の中では実施している。このことは常会の加入率の増加にもつながるので、今後も研究をしていきたい。

もう1点、NSCや地域包括ケアシステムは基本的にはボランティアで行っていただきたいと考えてはいるが、特に地域包括ケアシステムは、すべてボランティアは難しいので、他の地域の状況も参考にしながら検討していく。

区長

NSCは町の協力を得て、無事にスタートをし各部で活動を始めている。補助金については、5年で100万ですが、これを伸ばしていただきたい。また、会議等にかかる費用についても「中原の未来を考える会」で検討をしている中で、結論がでるまでは、町のケアをお願いしたいところ。区民の協働の力でやっていければと考えていますので、町の協力をお願いしたい。

町長

SCの目的は認証をとることではない。区の活動に活かされないと意味がないので今後も検討をさせていただきたい。

福祉課長

包括ケアシステムのモデル地区としてスタートをさせていただいたところで、他の区にもお願いをしているところ。どうしても費用の問題はでるが、気持ちで進めていただくとこも大きくあると思ってる。すべて、行政で賄うことは難しいので、地域の方々にも自

分たちの問題であるという認識をもっていただきたい。費用については、今後の検討課題である。

区長

良いモデルがあれば情報提供をお願いしたい。

福祉課長

先進地視察等も行い情報のストックもあるので、聞いていただきたい。

参加者

高齢者や生活弱者にどんな補助を町としているか。(特に移動手段について)

町長

みのちゃんバスは、高齢者(65歳以上)と障がい者は無料。その他にもいくつか支援を出している。

福祉課長

福祉券というものも出していて、いろいろなチケットがある。すべて、ボランティアでは難しいし、支援を受ける方もすべて無償では頼みづらいという意見もあるので、今後すべて無償という事はないと思うが、今後の検討課題である。

参加者

- ・小諸市はSCの認定を辞める中で、箕輪町も5年経過しSCがなかなか進まない現状があるが、理由はあるのか。
- ・SCと社協の違いがわからない。同じ活動をしているのと感じるので、1本化してもよいのでは。
- ・生活弱者のためのボランティア団体を作るときに、活性化交付金を使えるのか。

町長

SCと社協の最終的に目指している方向性は同じ。箕輪町は5年前にSC国際認証取得を旗印に活動を行ってきたが、せっかく取得した認証を5年経過したので辞めるという選択肢はないと考えている。国際認証にこだわる必要はないが、SCに付随していろいろな団体等を作った経緯もあり、簡単に辞めることが難しい。なかなか進まないのは、高齢者や安全対策、自殺など既に各区で取り組んでいるものがあり、新たにその組織を作る必要ないという考え方もあることが1つと考えています。ただ、ここは骨を折ってでも新たな組織を作ることは各区でそれぞれの組織の横の繋がりができるため、必要と考えている。

SCのよいところは数字をすごく大切にすること。何かあればデータで比べられる点には、なかなかない。

SCや社協などの重なっている業務については、出来るだけまとめて簡素化してほしい。それにより補助金を減らすという事はない。

副町長

(活性化交付金について)みのわチャレンジにそった内容の物であれば、問題ない。

参加者

帯無川について、日通の南側(広域農道の下)について護岸がなく危ないので河川改良

をお願いしたい。

町長

現場を確認する。

参加者

常会に入らない、新たに町に入ってこられた方に、町としてどのような対策をするのか。

町長

3割の入っていない方はほとんどが共同住宅で、戸建て住宅については調べていないので現状が把握できていない部分もある。また、各区で常会の加入率がかなり違うことも、現状で政策が打てない理由である。移住者に関しては、常会に入ってもらうような方向で考えていきたいが、お金で行う取組ではないと考えているので、他の市町村も参考にしながら考えていかないといけない。

参加者

町内1周駅伝ですが、今回1周になって出られない方がいた。今までは2つに分けていたので、みんなが参加できたので、2つに分けてほしいという意見もある。

町長

小さな区でもうまく皆さんが参加できる工夫が必要。

参加者

NSCなど各区の活動が町のSCの認証のために行われていると感じる。もう少し縮小してもいいのでは。

町長

各区で行っている事業は、決して認証をとるためではない。地域で動かないと、町全体では動きづらいので、各区にお願いしている面もある。活動のやり方については、各区の考え方で構わないので、高齢者の対策に絞るとか、災害に絞るなど、1つに絞り込むことも問題ない。